



令和7年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第41号
発行日 R7.12.16

不審者が現れた時、教職員・児童はどうすべきか

第3回避難訓練【不審者対応】



12月10日(水)3校時、つくば警察署にご協力いただき、不審者対応訓練（第3回避難訓練）を実施しました。本訓練は石井 玲奈 教諭（保健主事）が中心となって計画したもので、警察の方が不審者役になり、刃物を持って「子供に会いたい」と話す不審者が東門方面から侵入。発見した教職員が声をかけ、職員室へ連絡後に、次の教職員が玄関を施錠、防護盾を渡して応対しました。警察へ通報後、さらに教職員3名がモップ等を持って駆けつけ、最終的に取り押さえました。



警察署の方からは、次の4点についてご指導いただきました。また、今回、教員がモップの柄を不審者に向けましたが、刃物を持つ不審者がせまってくることを防ぐためには有効とのことでした。しかし、無理には取り押さえないが、もし侵入された場合、棒で間合いをとる状況ではないため、一人が行ったら全員で行くことが必要な場合もあるとのこと。

一方、児童は放送を聴いた後、授業をしていた先生の話を聴き、机を廊下側に移動させてバリケードを作り（机・椅子を無造作に重ねた方が侵入までの時間稼ぎになる〔他校の例〕）、安全確保の放送があるまで、固唾を呑んで避難を続けました。



今回の6年2組教室

そして全校児童は体育館に移動し、警察の方の講話を聴きました。講話では、学校・校外のそれぞれの対応について、以下の3点がありました。「10年間、まだ見つかっていない子がいる」ことに驚き、言葉巧みに子供を誘う言葉「寒いから乗りなよ・お家におもしろいゲームがあるよ」等（引っかかるないと思いますが）に気をつけること。不審者はサングラスをした、いかにも怪しい人でなく普通の人であること。さらに「逃げる時は、お寺・コンビニのどちらに逃げるか、それはなぜか」等のクイズも交え、分かりやすいお話をしました。



他校の例

この訓練は2002年の大阪教育大学附属池田小学校児童殺傷事件（児童8名犠牲）を風化させず、最悪の状況を想定して行う訓練です。今後も継続してまいります。

<学校で>

- ①先生のお話をしっかりと聴く。（そして行動する）
- ②見かけない大人の人がいたら、すぐに先生に知らせる。

<校外で>

- ③「いか・の・お・す・し」（※児童はよく分かっていました！）



校門の戸締りにご協力をお願いします

以前、北門「案内板」設置の記事（学校だより24号）で、防犯のため、児童生徒が在校している時間帯は門扉を閉めている旨をお伝えしました。門扉は閉まっていますが、施錠はしていませんので、つまみを回して開け、入校後に再び門扉を閉めていただきますようお願いいたします。（閉め忘れがあった場合は、閉めていただければ幸いです。※登下校時の時間帯は開いています。）

【花壇の手入れをしていただきました（御礼）】

夏から秋にかけて私たちの目を楽しませてくれた、東門の花壇のマリーゴールド等の花々。寒くなってすっかり枯れてしましましたが、先日、保護者の花壇ボランティアの方が抜いてくださり、新たに冬の花壇に整備していただきました。保護者の皆様が学校を支えていただいていることに改めて感謝申し上げます。



みなみ
掲示板